

マネ協

題字 杉本 隆子

有限責任中間法人
日本芸能マネージメント事業者協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿
1-24-7 ルネ御苑プラザ 309
TEL. 03 (3225) 5984
FAX. 03 (3225) 5949
E-mail: manekyo@manekyo.com
http://www.manekyo.com

発行日 平成18年1月15日
発行人 久保 進
編集人 松田 咲實
印刷 谷本 企画

M A N A G E M E N T R E P O R T

「マネ協、今年の展望」

理事長 久保 進



会員事業者の皆様新年明けましておめでとう御座います。
マネ協は長年の懸案でありました法人化をなし、ちょうど一年目
を迎えます。初年度は各理事、担務配分の決定など出陣体制を整
えることに時間を裂き、皆が納得するようなマネ協活動が出来な

かったように思います。しかしながら適材適所の各委員会が、今後それぞれのジャン
ルに派生する諸問題を適切に処理し導いていけるものと確信いたします。協議を重ねて理事
個々の人脈や能力をフルに発揮できるように配置いたしましたので必ずや大きな前進を図れ
るものと期待いたして居るところで御座います。

社員（会員事業者）の皆様も、それぞれの委員会に積極的、能動的に参加していただき、協
会としてのパワーを遺憾なく発揮していくためのお力添えをお願いいたす次第です。「皆が
参加し、皆でつくるマネ協」という基本理念を堅持し今年こそマネ協の大きな前進を図りたい
と思います。社会から信頼され評価され、組織として社会に向かって必要と思われる意見
は会員事業者を擁護するため、胸を張って主張し続けて行ける団体に成長してまいりたいと
念願いたします。最後に会員事業者各社と所属の皆様の、今年の大いなる発展を祈念いたし
まして新年のご挨拶と致します。

平成18年 初春

*事務局からのお知らせ

ランク制度に関する アンケートの実施について

研修旅行でも議題として取り上げたランク制度で
すが、特に民放4社と三団体の間で取り決めている
「ゾーンランク制度」の今後については、三団体間
でも様々な意見があります。そこで、マネ協の見解を
明確にする為の参考として、会員の皆様のご意見
を伺うアンケート調査を行ないます。

実施時期は1~2月頃になる予定ですので、宜しく
ご協力をお願い申し上げます。

マネ協の「ロゴマーク」募集します

法人化もなり、新たな歩み始める
「マネ協」はロゴマークを募集します。
マネ協のシンボルマークとなるもの
ですのでひと目でマネ協とわかるよ
うなロゴマークに育て上げていき
たいと考えています。会員の皆様で良
いアイデアがありましたら是非案を
お寄せいただきたいと思います。

- 応募先・・・事務局
- 応募締切日・・・2006年3月末

恒例 マネ協研修旅行会を開催！

翌日は有志ゴルフコンペ

昨年11月23日(祭)と24日(木)に恒例のマネ協研修旅行会が開催されました。

好天に恵まれた11月23日正午、熱海さくらや旅館に集合した38名のマネ協の研修会参加者は、早速会議室に集まり久保理事長の挨拶とランク問題に対するご意見のあと守屋理事の司会進行で活発な討議が行われました。

出席者全員がランクに関しての意見や考え方を述べてもらうという展開となり私たちの仕事において、無視して通ることのできない「ランク問題」について深く考え、認識を新たにして、大変意義のある研修会になったと思います。

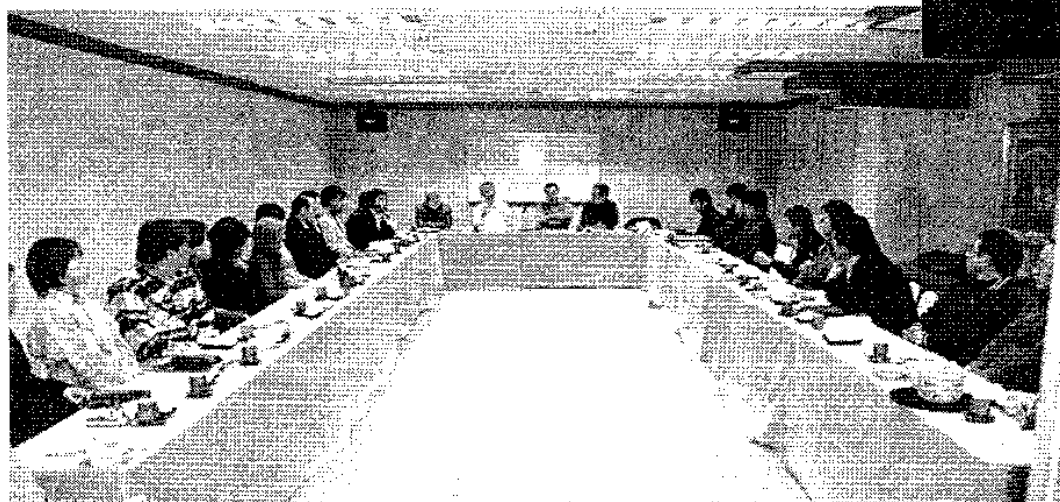
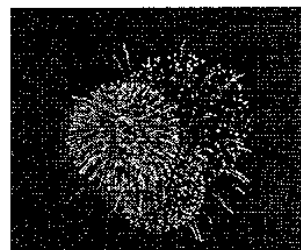
大変良い宿を格安に交渉してくださいました南沢理事と幹事の皆さん大変ご苦労様でした。

(レポート 編集部松田)

**マネ協
研修旅行
in 熱海**



今回の目玉、
花火大会を部屋から…
音が当たる特等席。



ランク制度にテーマを絞って、様々な意見が交わされました。

マネ協研修旅行に参加して

ういなぁエンタテイメント
しろがねしょおむ

2005年11月23日～24日。本年度も恒例となりました第7回「マネ協研修旅行」が静岡県・熱海温泉の「さくらや旅館」にて開催されました。

当日14時、仕事などで熱海入りが遅れている方々を除き皆さんが揃った中、今年も勉強会は始まりました。今年のテーマは「ランク制度について」。この問題は、日俳連さんの方でも議論されており、ゾーンランクの撤廃も含めた問題について、私たちプロダクション側からみた場合、どのようにとらえているのか？参加各社のマネージャ及び代表者達が個別にどう考えているか？また、どのようにしていくべきなのか？そもそもランク制度とは？…などを改めて認識し、個々の権利及びマネージメント環境等を、これからの時代の変革の中でどう考え、位置づけ、行動していくべきか？真剣に討議していきました。現状の各社の状況や課題、そして音声現場を中心とした各社と、映像現場を中心とした各社、個々がおかれている現状環境なども違いそれぞれの主張がある中で、白熱した前向き且つ活発な意見交換

強会として、現状の問題点や今後の展望など、「ゾーンランク制度」の意義や必要性も含め、改めて認識討議することが出来ました。またその他にも「二次使用料支払い」「氏名表示権」などについても話し合わせ、内容はとても有意義なものになったと思います。その後の親睦会では、酒を交わしながらもさらに活発な意見交換が積極的にされ、私自身も大変有意義な話を皆様と多数させて頂きました。その後、2次会は海が見渡せる部屋に集まり、熱海の冬の海上花火を眺めながら、夜な夜なまで意見交換を白熱させていきました。翌日24日は研修参加者中10名が参加し、西熱海ゴルフ場にて「第一回マネ協ゴルフコンペ」が開催されました。天気も穏やかで大変よく、解放した雰囲気の中でアットホームにゲームは進み、初心者から上級者までが一緒に熱くそして楽しくゲームを繰り広げながら交流を深めてまいりました。熱海という地でおこなわれた第7回マネ協研修旅行、今回も大変良い経験になったと思います。

第1回 マネ協ゴルフコンペ開催!

研修会翌日のイベントとして

研修会の翌日11月24日、西熱海ゴルフ場に有志が集まりゴルフコンペを行いました。マネ協としては「第1回ゴルフコンペ」となります(すべて自己負担)。好天に恵まれ、参加者は日頃のストレスを発散して楽しい一日を過ごしました。優勝は日頃の腕前を遺憾なく発揮した南沢理事がさらい、楽しいゴルフコンペを終えて、研修会を締めくくりました。



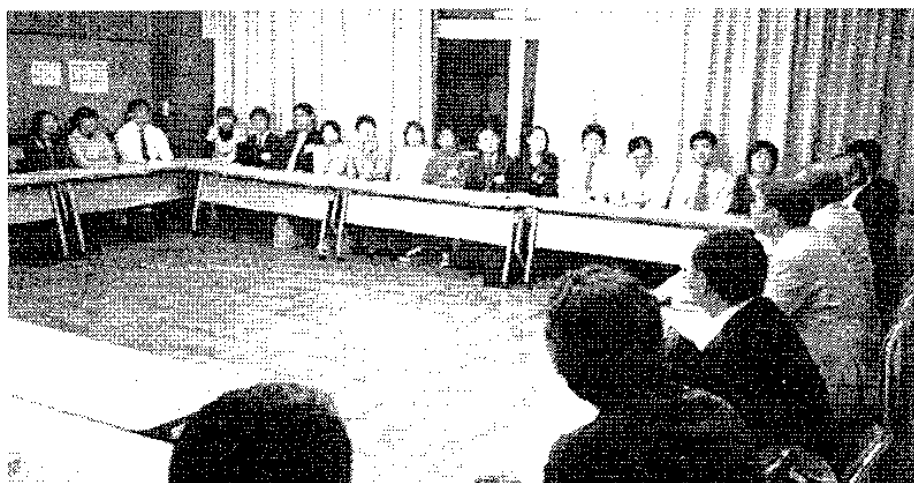
『若手マネージャーの為の勉強会』ご報告

(担当理事：熊野)

10月19日、芸能花伝舎にて映像演劇関連業務委員会の主催で「若手マネージャーの為の勉強会」が行なわれた。参加者は30数名、マネージャー経験の浅い人が多かった。中には入社して3ヶ月という人もいた。どういふ努力をすれば良いマネージャーと呼ばれるのか、正直言って私にも判らない。当日は、先輩マネージャーの経験談から何かを汲み取って貰えればと思つて、色々な話を語ってもらつたが、お役に立ったかどうか。そもそも、良いマネージャーとはどういふ人の事を言うのか、自分も模索している身である。

あんまり偉そうなことは言えないのである。その自分の事を棚に上げて、恥ずかしながらお話をさせて頂いた。

こういう勉強会は、試行錯誤しながらでも続けていった方が良いと思う。今の世の中に訴えかけるドラマが、一つでもこの勉強会を通じて生まれないと密かに楽しみにしています。



会場に集まった若手マネージャー(自前含む)

平成18年度NHKランク交渉について

副理事長 山崎 譲

最低基準出演料について、二年間アップが無く実演家から低いとの要望もあり、アップを申し入れたが、NHK側の状態が悪くまた据え置かれた。三団体は、下記①～③を一旦了承した上で、④～⑥については再度話し合いを持つことになっている。互いに納得の行く現場作りをする為、一層努力していきたい。

「平成18年度NHKドラマランク申し入れ」とNHK回答

①最低基準出演料、テレビ現行18,000円を22,000円に、ラジオ現行17,000円を20,000円に改定していただきたい。最低ランクアップは平成15年度に7年ぶりにラジオ・テレビともワンランクアップされていますが、あまりにペースが遅いため本年は4ランクのアップをお願いします。

【回答】…現行通り

②基準出演料の上限アップは貴協会の困難な現状に鑑み本年は要求を差し控えます。

③所属プロダクション、所属劇団が推薦する俳優に関しては優先してランクアップをお願いしたい。貴協会への出演実績だけでなく民放、舞台等の出演実績も評価の対象とすることの再確認をお願いします。

【回答】…基本的にNHK実績重視だが、民放・舞台等の実績も資料を付けてくれれば参考にします。

④貴協会並びに関連会社が外部に制作を発注した作品の出演者の待遇について、昨年、実情を精査するとの回答をいただきました。精査の結果と今後も外部への制作委託を継続するのかどうか伺いたい。また、制作委託した作品の使用期間終了後、製作会社と貴協会が番組権利の持合になった場合も貴協会の責任で二次使用料が支払われることを確認したい。

【回答】…出演料がNHKランク、待遇が外部制作会社基準という例があり、まとめた方が良く考える。外部制作委託は継続する。二次使用の権利処理は基本的にNHKですが、円滑な処理のため例外的に外部から支払う場合もある。権利持合では、3年間はNHKが代表権行使し、それ以降は協議により権利行使を行なう。

⑤昨年度、キャンセル料とは別に拘束料の設定を考慮して欲しいとお願いし、貴協会から拘束を短くするよう現場を指導していくのご回答をいただきました。また、拘束が長引く事態が発生した場合は現場で対応していきたいとのご回答でした。結果として、残念ながら拘束が短くなったとは思えないのです。現場では拘束を短くするような取り組みがなされたのでしょうか。拘束が長引く場合、現場で担当者と積極的に協議させていただきますが、大まかな基準を設定することは必要と考えます。

【回答】…制度化は出来ない。スタジオ調整や出演者の民放スケジュールの問題もあるが、早めにスケジュール決定するよう現場との連携を続ける。

⑥もし、作中に事故が起きた場合に適用する保険等について、共同研究の機会を現在まで持つことが出来ていません。貴協会とも話し合いを申し入れさせていただきます。民放各局ともこの件についてお話を始めました。

【回答】…安全管理を努力し、新たな方策あれば検討していきたい。

オーディオ部会・活動報告

担当理事 町田 泉

新年、明けましておめでとうございます。今年も何卒、宜しく願い申し上げます。多メディア、多チャンネル時代に入っていて、早や5年になるうとしています。その間、実に多くの外画シリーズ作品が製作され、現在も進行中です。しかし一部を除き、その殆どがディズニーチャンネルを始めとする「CS放送」向けであることを改めて認識しなければなりません。今年こそ、数年前から申し入れしている「外画作品CS特別規定」の改定をすることが必要だと思います（目的使用料の改定、そして料率の見直し）。他のシリーズとしては「WOWOW」及び「民間BS」作品と「NHK-BS」作品ですが、NHKについては既報の通り、今年度新作放送分より料率に変更となるため、現在製作中の作品が終了した後、当分の間、旧作の再放送が増え、新シリーズについては減少するであろうとの情報があります。更に、地上波の外画シリーズ作品については残念ながら皆無に等しいのが現状です。又NHK及び民放ゴールデン枠の長尺に付きましても、若干ですが年間製作本数が減少していく傾向が見受けられます。しかし、ビデオ作品につきましても、一昨年、昨年とほぼ横ばいであると思われれます。新年早々から、あまり明るい話題が無いので、大変恐縮していますが現状は現状として、しっかりと受け止め、会員社社員一人ひとりが如何にすれば各作品の製作本数を増やすことが出来るのか、その意識を持つことが肝要だと思っております。一方、動画シリーズ作品は一時期100作品を越え、現在は若干減少したとは言え、90作品前後あるのが現状です。

各メディアの作品が専門チャンネル以外、どのチャンネル、どの時間にまわしても、必ず日本語吹き替作品がモニターできる・・・これが夢です。

今年「日本語吹き替え放送開始50年」の節目になります。マネ協・音声連・日俳連・三者合同記念パーティーを企画しています。私が初めて街頭テレビを見たとき、力道山はまさにヒーローでした。しかし、「スーパーマン」こそ本当のスーパーヒーローでした。「アニーよ、銃を取れ!」「ソニー号・空飛ぶ冒険」等々“胸をワクワク、ドキドキ”させながら見ていたものでした。「サンセット77」「ルート66」更に「ローハイド」「ララミー牧場」、そして「コンバット」。私が業界に入った37年前、初めてスタジオに挨拶に行った時の作品が「奥様は魔女」でした。そんな懐かしい作品から、話題になった作品、そして数年前からの韓流ブームに至るまで、マスコミ全体を巻き込んで、更に一般のファンも注目する様なそんな大パーティーを開催する予定で、準備委員会を発足し、現在打ち合わせの真っ最中です。実行委員長に植村伴次郎会長。副委員長には三者それぞれより、久保理事長、塚田理事長、そして羽下佐間道夫氏が日俳連の代表の予定となっています。日時は10月25日(水)午後18時30分開宴、場所は赤坂プリンスホテル五色の間・会費は一万円を予定しています。パーティーは業界の関係者のみ(三者・各局・ビデオ会社等々予定)。

一般用としては、外画・動画吹き替えイベント・劇場用の公開・サイン会等、現在は企画の段階ですが、この内容を含めて、どのようにPRし、活性化につなげていけるか?このことが最大の課題だと思っております。このパーティーとイベント展開の結果が業界の活性化につながり、世代を超えて胸をワクワクドキドキしながらテレビやビデオを見ている・・・そんな夢に向かって成功に導きたいと願っています。

<PRE通信 その5> PRE事務局からご報告

事務局 平井和夫

12月1日、「PRE」も有限責任中間法人に

昨年1月に法人化されたマネ協に続いて、年も押し詰まった12月1日にPREもマネ協と同じ有限責任中間法人として登記されました。実演家の二次使用料を預かる団体として公的な立場と責任を明確にする必要があったからです。団体の新しい構成及び新執行部は、次のように決定しました。新代表理事には、マネ協理事の守屋俊郎氏がそれまでの代表幹事から引き続いて再任されました。

新 役 員

代表理事	守屋俊郎 (再任)
副代表理事	内田勝正 (再任)
副代表理事	山崎 譲 (再任)
理事	浅原恒男 (再任)
理事	亀井俊夫 (再任)
理事	田中弘史 (再任)
理事	丸山秀美 (新任)
監事	大江健司 (新任)
監事	森塚 敏 (再任)

社員団体及び社員代表者 (順不同)

社団法人	日本俳優協会	浅原恒男
社団法人	日本劇団協議会	山崎 譲
協同組合	日本俳優連合	内田勝正
社団法人	日本映画俳優協	久保 明
社団法人	日本喜劇人協会	永田清成
中間法人	日本芸能マネージメント事業者協会	守屋俊郎
	日本新劇俳優協会	神山 寛
	日本人形劇協会	大江健司
	関西俳優協議会	田中弘史
	名古屋放送芸能家協議会	榎木 卓
	日本モデルエージェンシー協会	小林信治

*** 新代表理事の守屋氏に一問一答**

Q：法人化おめでとうございます。

A：ありがとうございます。

Q：確か4年前の発足時の委任者の数は6千名くらいと記憶していますが、現在は？

A：昨年末現在で、1万5千人を少し超えましたが、これからはゆるやかな委任者増になると予想しています。

Q：委任者の二次使用料は発足時に比べて如何でしょう？

A：初年度は約1億2千万円ほどでしたが、今年度は約5億4千万円でした。

Q：急激な右肩上がりですが、今後も同様な伸び率が見込まれますか？

A：今後は必ずしもそうとは言えません。ご存じのように私的録画補償金の先行きに不安があります。場合によっては補償金制度そのものがなくなることも考えられます。

また、インターネットへの番組提供のルールが権利者にとって適正かつ公平に作られないと、配信業者だけが太ることになり兼ねません。

Q：PREは、その事に対して何らかの対策を練っているのでしょうか？

A：PREの委任者だけにとどまる事ではないので、全実演家を代表する実演家著作隣接権センター（CPRA）とともに必死にそれらの対策に取り組んでいます。遠からず権利者自身の声を必要とする時が来るはず。その時は、マネ協の社員事業者、所属俳優の皆様、是非、ご協力をお願いします。

Q：実演家が放送番組の許諾をしびっているのがビデオグラム化やインターネットでの利用がスムーズに運ばない、と新聞では実演家が悪者になっていますが、実態は？

A：報道が全くのどたらめとは言いませんが、かなり偏った報道に思われます。権利者団体の中には容易に許諾を出さない団体もありますが、それはそれで権利者の利益を守るために必要と考えてのひとつの方法論です。それとは別に、どんどん二次利用してください、但し適正な利用料をお支払い下さい、というのがPREの立場です。さらに一歩進めてこの4月1日からCPRAを窓口とした、放送番組全部利用の一任型業務をPREは予定し、その準備を現在、着々と進めています。

Q：一任型とは？

A：実演家が権利処理を委任するにあたって、その方法には一任型と非一任型の二通りがあります。非一任型は番組利用に当たって出演者の一人一人に事前に許諾をとる方法で一人でも不許諾となれば、その番組を利用できないか、または当該出演者をカットして利用しなければなりません。一任型は、利用料さえ支払えば事前の許諾を必要としません。どちらが利用者にとって好都合か言うまでもないことでしょう。PREはPRE委任者から既に一任型で委任状をいただいております（番組の部分利用は非一任です）、CPRAに複委任して全面的に一任型業務に移行するときは、PREから各事務所宛、あらためて確認の文書を送封します。よろしくご協力をお願いします。



現場マネージャーの独り言

(匿名氏)

「マネージャーの心が痛い日」

私には殊更深く印象に残っているマネージャーがある。新劇関係の劇団が分裂を繰り返し、それぞれの劇団が知名度を上げるため映画放送部を設置して、マスコミ出演のチャンスを求めて数多くのマネージャーを投入して劇団員の売り込み合戦にしのぎを削っていた時代のことである。某中堅劇団のマネージャーとして売り込み活動しているSマネージャーと私は出会った。S氏は何時も黒っぽい汚れきったようなヨレヨレの背広を着ている、というよりも汚れが目立たない洋服を好んで着用している人であった。ただし難点があった、いつだって、すえたような酸味の或る悪臭をほのかに匂わせ、今で言う、オヤジ臭を放つ中年マネージャーであった、マネージャー暦の浅い私は、製作担当者や監督を紹介してもらえる為、Sマネージャーと意気投合して頻りに撮影所廻りや売り込みまわりを繰り返していた。すると決まって途中でいなくなる雲隠れの得意なマネージャーであることに気がついた。最寄り駅のパチンコ屋の決まった台辺りでドル箱を積み重ねて誇らしげに私を待っているのがあった。Sマネージャーの論理に寄れば「マネージャーは骨を折ったとか熱が出たとかの病気やケガだけではなく、心が痛い日も仕事を休むべきだ」と理路整然と力説するのだった。「売り込んで売り込んでやっとこさ決まりかけ、半決まりになっていた配役がライバル劇団に持っていかれたりすると、心が痛い」のだそうです。胃炎や熱発で体が思うように動かせないときに人は休むように、「心が痛い日もメンタルな仕事に就く我々は休業にすべきだヨ」と独特の論理を力説して、業務中のパ

チンコ通いを、Sマネージャーは正当化するのです。S氏はもうひとつ「マネージャーの秘かな愉しみ」について打ち明けてくれました。強烈な水虫もちのSマネージャーは一日中現場廻りを続けると密閉された靴の中でたまらなく足がかゆくなるのだそうです。片方の足で踏みつけるなどしてその場を凌ぐのだそうですが、かゆくて痒くて我慢し切れなくて、眼もウツロになって、売り込みの迫力も半減するのだそうです。靴の底からでも足を掻きたい衝動を一日中我慢して自宅に戻り、やおら靴下を脱ぎ捨て、思う存分水虫を掻くのだそうです。血が滲み出すほど掻くときの満足感と幸福感をSマネージャーはウツリと思いやりながら語り、「この、秘かな愉しみがあるからこそ私はマネージャーを続けて居られるんだんだヨ松っちゃん」と力説した。数年後、私も水虫持ちになったが、Sマネージャーの言う「秘かな愉しみ」はいまだに理解できないでいる。いまではS氏の生死、所在すら知らない。

* (編集部注) 当コラムの執筆者がほかに無かったとは言え、正月版には不適切な内容だったことをお詫びいたします。マネージャーは営業マンとして清潔な身なりと品性が求められます。また、業務中の雲隠れはいけません、アウトです。



今回のビアパーティーは、1月の法人化を受け「法人化記念ビアパーティー」と題して開催いたしました。

諸々の事情で開催日が9月7日となった為、暑気払いには少々遅いかとの心配もありましたが、幸いなことに(?)今夏は暑さが長く続きましたので、ちょうど良い頃合になったかと思えます。

当日は、初めのうち強い雨が降っておりましたが、次第に天気も回復し、会場となった「コパTOKYO」には、会員・関係各社・関係団体の方々を合わせ44社7団体128名がお集まり下さり、盛況と成りました。

<ビアパーティーのご報告>



[マネ協・会員事業者リスト：117社/h.18年1月]

- | | | |
|------------------------|----------------------|------------------------|
| (株)アーツビジョン | 銀プロダクション | (株)劇団東俳 |
| (株)アイエス | (株)クオレ | (株)オフィス・トクヒロ |
| (株)アイムエンタープライズ | 劇団グスタフ[(株)オフィスK&K] | トム・プロジェクト(株) |
| (株)青二プロダクション | クレイン・リバー[(株)アガ・イン] | (有)トリトリオフィス |
| (株)アクセント | (株)黒沢良事務所 | (有)中里事務所 |
| アクターズ・カンパニー | (有)ケッケコーポレーション | (有)劇団21世紀FOX |
| (株)アクターズセブン | (有)賢プロダクション | (有)劇団俳優座 |
| (株)アクターズプロモーション | (有)元氣プロジェクト | (株)ぶろだくしょんバオバブ |
| アスク・マネージメント | (有)現代制作舎 | オフィスP.A.C |
| (株)アドヴァンスプロモーション | (有)ケンユウオフィス | (有)ビーボ |
| (有)アルファエージェンシー | (株)コスモスペース | プランニングメイ(有) |
| (株)アンクルベイビー | (株)さち子プロ | (株)古館プロジェクト |
| (有)あんどろ | (株)三桂 | 劇団文化座 |
| (有)イーアンドエー | (株)CSRコーポレーション | (株)文学座 |
| イスpring[(有)スタジオ藍丸] | (株)オフィスCHK | (株)放映新社 |
| (有)イイジマルーム | (有)ジェイ.クリップ[リベルタ] | (株)宝映テレビプロダクション |
| 声の劇団イメージ | (株)シングマセブン | (有)劇団朋友 |
| (有)岩淵ぐるうぶ | (株)仕事 | (有)プロ・フィット |
| (株)ウイットプロモーション | (有)シス・カンパニー | (株)舞プロモーション |
| (有)ヴィーヴ | (株)ジンス | (株)マウスプロモーション |
| ウィナー(株)[ういなあエンタテインメント] | (有)スターダス・21 | (有)オフィスまとは |
| (有)エーエス企画 | 劇団昴 | (有)ミズキ事務所 |
| (有)ぶろだくしょんA組 | 青年座映画放送(株) | (株)劇団民藝 |
| (株)81プロデュース | (株)ソーラーカンパニー | (株)ムーブマン |
| (有)エスプレイング | (有)宝井プロジェクト | (有)ムーンライト企画 |
| (株)エヌ・エー・シー | (有)田上事務所 | (有)プロジェクト・メガリス |
| (株)エ・ネスト | (有)竹内事務所 | (有)メディアフォース |
| (株)エム・アール | (有)プロダクション・タンク | (有)オフィスもり |
| M.M.P | (株)テアトル・エコー | (株)矢島聰子事務所 |
| (有)エムカンパニー | TAG(東京アナウンス学院) | (有)山田栖峯子事務所 |
| (有)えりオフィス | (有)TABプロダクション | (株)ゆーりんプロ |
| (株)円企画 | D・R・A[(株)放送表現教育センター] | (株)ヨコザワ・プロダクション |
| (株)大沢事務所 | (株)ディー・オー・エー | (有)ライターズ・カンパニー田畑富久子事務所 |
| (有)大平プロダクション | (株)オフィス・テン | (株)ラヴァンス |
| 落合事務所 | (有)t-o-d-o | YAG(代々木アニメーション学院) |
| 劇団糧 | (有)東京芝居倶楽部 | (株)若プロダクション |
| (有)オフィス薫 | (有)プロダクション東京ドラマハウス | (株)劇団若草 |
| (有)活動屋 | 東京俳優生活協同組合 | (有)オフィス・ワット |
| (有)キリンプロ | (株)同人舎プロダクション | (有)ワンダー・プロダクション |

賛助会員一覧

(2006年1月現在)

- <法人> (株)NHKエンタープライズ21
 (株)オセロット
 紀伊國屋ホール
 (株)C.A.L
 松竹(株)
 松竹京都映画(株)
 (株)テレビ朝日

- (株)テレビ東京
 (株)東京演劇音響研究所
 (株)TBSテレビ
 社)日本劇団協議会
 日本テレビ放送網(株)
 (株)俳優座劇場
 (株)フジテレビジョン

- <個人> 山岸 伸

■(賛助会員)加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。
- 会費は <法人> 1口 30,000円
<個人> 1口 10,000円
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。

MOVEMENT REPORT**<2005年9月>**

- 7日 常務会・第9回定例理事会(コバTokyo)
 // 三団体[マネ協・劇団協・日俳連]会議(同)
 // ビアパーティー(同)
 9日 民放4社・三団体会議(テレビ東京)
 16日 PRE常任幹事会(PRE)
 22日 民放ランク申請手続きの打ち合わせ(マネ協)
 26日 第17回PREセミナー(花伝舎)
 28日 「若手マネージャーの為の勉強会」打ち合わせ(マネ協)

<2005年10月>

- 11日 三者[マネ協・日俳連・音声連]合同イベント準備委員会(日俳連)
 12日 PRE常任幹事会(PRE)
 // 常務会・第10回定例理事会(マネ協)
 13日 NHK・三者会議(日俳連)
 19日 三団体会議(日俳連)
 // 「若手マネージャーの為の勉強会」(花伝舎)
 24日 ADK・三者会議(ADK)
 28日 三者合同イベント準備委員会(日俳連)

<2005年11月>

- 1日 TBS・マネ協、イベントに関する会談(TBS)
 2日 NHK・三団体会議(NHK)
 7日 常務会・第11回定例理事会(マネ協)
 9日 PRE常任幹事会(PRE)
 10日 TBSよりマネ協へ、イベントの件の口頭回答
 21日 三者合同イベント準備委員会(日俳連)
 23日 研修旅行 in 熱海(熱海さくらや旅館)
 24日 //
 // TBSよりマネ協へ、イベントの件の文書回答

<2005年12月>

- 6日 NHK・三団体会議(NHK)
 7日 常務会・第12回定例理事会(マネ協)
 12日 三者合同イベント準備委員会(日俳連)
 14日 PRE常任幹事会(PRE)
 20日 第18回PREセミナー(花伝舎)
 21日 対内関連業務委員会(マネ協)
 22日 三者実務小委員会(音声連)
 28日 三団体会議(日俳連)
 29日~1月5日 マネ協事務局、年末年始休業

***編集委員募集中です。**

編集スタッフ連名 松田咲實 伊藤信(事務局)

●<http://www.manekyo.com>

●e-mail: manekyo@manekyo.com

マネ協新加入事業者の紹介**(有)プロダクション東京ドラマハウス**〒171-0033
東京都豊島区高田
3-11-14TEL:3208-2791
FAX:3208-2792代表者 社員代表
後藤 志づ 井口 麻耶**(有)オフィスもり**〒180-0004
東京都武蔵野市吉祥寺
本町1-13-6
古谷ビル新館801TEL:0422-28-7323
FAX:0422-22-5855代表者 社員代表
森 功至 反田 曜司**編 集 後 記 VOL.22**

正月明けの会報に昨年夏のビアパーティーの報告を載せなければならぬおまぬけな編集になってしまいました。年間3回しか刊行しない会報に対して、「倦怠期のご夫婦並みの回数」と揶揄する人も居ますが、編集責任者として、いかなる批判も甘んじて受ける覚悟です。編集子は昨秋、中国、雲南省のジャングリラをヶ月旅してきましたが、世界の桃源郷と賞賛される美しい自然風土は一度は訪れてみたい世界自然遺産で、過酷な生活環境の中で、自然に溶け込んで遅く暮らす、少数民族の旺盛な生活力に感動して帰国しました。マネージャーという職業も、過酷な経済状況と人間関係の中、遅く生き抜く強靱で旺盛な生活力を持った遅い人種かもしれませんが、とりわけこの業界に生きる人々が、より豊かで社会的地位も上がって行けるようにマネ協は連帯を強めて参りたいと思います。そのためにもこの会報を持続させる必要があると強く感じるものです。ご理解とご協力をお願いいたします。(編集部 松田咲實)

権利処理関連業務委員会**二次使用料は出演時事務所に**

既にPREからの二次使用料は、原則として出演時の事務所に支払われています。基本的に、二次使用料にも出演時の事務所のマネージメント料が発生するという考え方です。但し、何年も前の番組の二次使用の場合、出演時の事務所がなくなっている場合もあります。その時は現在の事務所に支払われますが、マネージメント料を頂くかどうかは事務所内での話し合いです。事務所が存在していても様々な理由から受け取りたくない場合もありますが、PREに連絡してください。次から現在所属の事務所に支払われます。実演家から直接個人に、または現在の事務所に支払って欲しいとの要望があった場合、出演時の事務所の承諾が必要です。承諾が得られないときは、出演時事務所に支払われます。事務所の手数料については当該俳優と事務所で話し合ってください。

上記のPRE方針をマネ協理事会では、検討のうえ既に容認していますが、マネ協もまた上記の方法によることを改めてご報告します。

マネ協

題字 杉村春子

有限責任中間法人
日本芸能マネージメント事業者協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿
1-24-7 ルネ御苑プラザ 309
TEL. 03 (3225) 5984
FAX. 03 (3225) 5949
E-mail: manekyo@manekyo.com
http://www.manekyo.com

発行日 平成18年6月20日
発行人 久保 進
編集人 松田 咲實
印刷 谷本 企画

M A N A G E M E N T R E P O R T

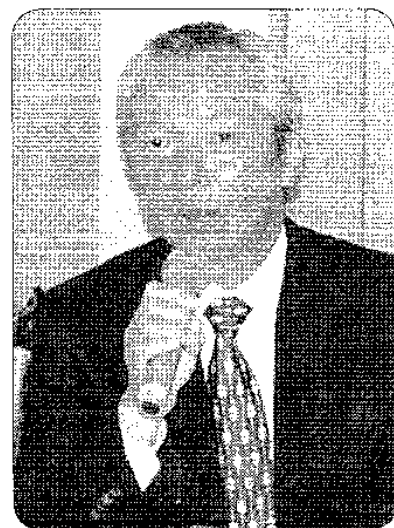
第3回 定時総会を開催

去る5月23日(火)にマネ協定時総会がNHK青山荘で開催されました。中間法人となって、丁度3回目の定時総会です。久保理事長が生憎体調を崩されていたため、定款に基づき、副理事長が理事長代行として議長となり議事進行いたしました。

過半数を超える出席で総会は成立。議長となった山崎副理事長の議事進行で「事業報告」「決算報告」「予算案」「賛助会員規定改定」などが次々と提案、承認されつつがなく総会を終りました。

夕刻からは懇親会が開催され、芸団協・大林文史常務理事からご挨拶を戴き、80歳を迎えて猶、現役マネージャーを務めているという中里さんの力強い乾杯の音頭で懇親会に突入して順次「新加入事業者の紹介」などが行われ、総会スケジュールのすべてを無事終了しました。

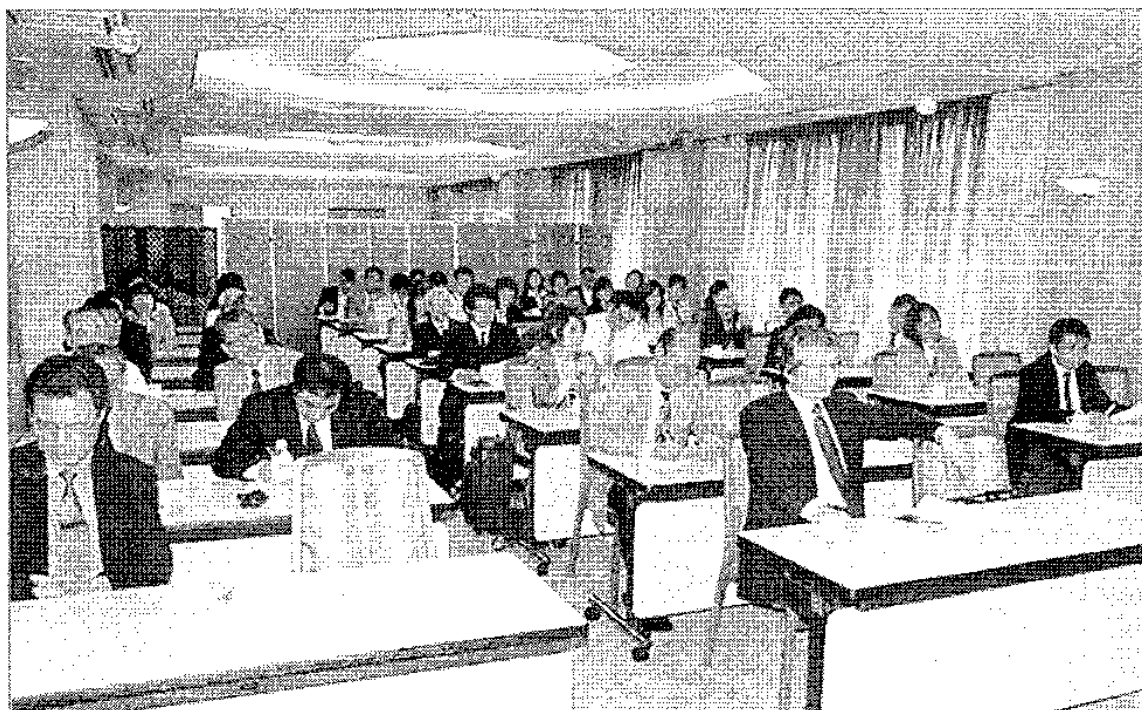
(報告:編集部)



久保理事長欠席のため、議長を務める山崎副理事長



総会の書記と懇親会の司会、イースプリングの若泉絵子さん



第6回 劇団研究所卒業生スカウト・オーディションを開催

恒例のマネ協主催「劇団研究所卒業生スカウトオーディション」が去る3月3日に恵比寿エコー劇場において開催されました。今回は文学座と青年座の2劇団の研究所卒業生54名がスカウト事務所のマネージャーの皆さんの審査を受けました。スカウト指名をしたのは参加22社中17社、48名のほりました。所属交渉を経て、所属になった人は11社24名になりました。ダブルやトリプル指名を受けた人も少なくないため指名者延べ159名でしたが、実質所属先が決定した人は24名となりました。

参加社へのアンケートでは「傘下のレッスン生としてなら将来性も見込めるが、即所属には厳しいです」「マネ協の重要な活動のひとつとして継続すべきです」「皆に同じ課題が与えられたのは、良い判断基準になったと思う」等の貴重な意見が寄せられました。



久保理事長による挨拶。

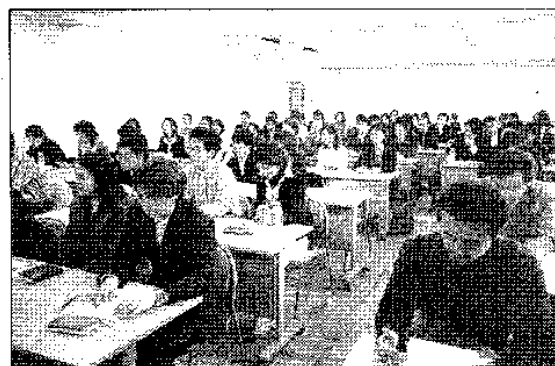


審査待ちの間のサービス？ 卒業生有志によるコーラス

オーディオ部会・活動報告

担当理事 町田 泉

去る4月21日、芸能花伝舎1-1会議室において、外画動画実務運用表に関する説明会を開催いたしました。当日会場には、50超の会員社と松田・小野両副理事長をはじめ、新人・若手のみならず、中堅・ベテランの現場担当マネージャー諸氏も含め何と80名を超え、私の想像以上に参加者があったことは、実に喜ばしい事でした。説明会の内容としましては、「外国映画日本語版」「テレビ放送用アニメーション番組」の出演に関する覚書・並びに協定書に対する説明からスタートし、全体的な運用表の説明の中で特に時間を割いたのは、「料率」に関する基本的な計算方法と、複合する料率の計算の仕方についてでした。終了後多数の参加者より、目からウロコ、とのご意見を頂き、大変に有意義な会であった事を痛感致しました。現行の実務運用表の見直しに着手してから早や4年。未だに新実務運用表の調印に至って居りません。これは以前にも書きましたが、日本アニメ裁判の判決で、目的外使用料に関し、制作会社側に支払義務が生じる事が、音声連側にとって大きな問題となっているのが、遅れている要因になっている訳です。更に、当時の日本動画製作者連盟と調印した「協定書」は、平成20年10月で契約切れとなります。マネ協は現在、音声連・日俳連・日本動画協会との4者間において、「合意書」に関する調印に向けて討議を続けています。合意に至る迄には未だ時間がかかると思われますが、報告すべき事項については、改めて会報等でお知らせする様にします。尚、次の事項について、後日改めて事務局よりお知らせします。



◎吹き替え放送開始50周年記念パーティー開催、
10月25日(水)赤坂プリンスホテル五色の間。 以上

「加藤進平元事務局長」が ご逝去！

マネ協の事務局長として協会発展のために尽くされた加藤進平元事務局長が去る3月26日23時56分、享年76歳にてご逝去されました。元俳協の専務理事としても活躍された方でマネ協事務局長退任後、闘病生活となり薬石効なく、永眠されました。

告別式は3月30日、中野区の天徳院会館にて多くの関係者が列席され、しめやかに葬儀が営まれました。生涯を通じて加藤さんが唯一の上司であったという久保理事長の弔辞は心に染み入るものがあり、参列者一同、加藤さんの芸能界にささげた人生を見送りました。(編集部)

「さよなら、進平さん・・・」

副理事長 松田咲實

加藤進平さんが俳協の専務理事だった時代、私は営業部の一員としてマネージャー業に専念していました。まだ危なっかしく未熟な私に加藤さんはずいぶん丁寧な仕事の進め方を説明しレクチャー・ご指導くださったものです。何よりも包容力のある上司であり管理職であり、部下たちの信頼も厚く信頼を深めていったものでした。かつて加藤さんの部下だった者たち有志で「進平会」と言う親睦会をつくり、年一回師匠であった加藤さんを囲み飲み会を開催する、加藤さんのお話などを聞きながらマネージャーとしての自分を検証し、見つめ直す、「進平会」はいつしか、私たち芸能マネージメント業界に生きるものにとって大切な行事となって定着していったのでした。今年3月に開催された「進平会」には加藤さんも楽しみにしていたものと見え、入院先の病院内で歩行練習を繰り返してやっと出席できたと挨拶されました。闘病のためか驚くほどお痩せになり奥様に付き添われてやっとご出席くださったということ加藤さんが進平会をいかに大切に位置付けて下さっていたのかが窺い知れ、それだけで大満足の会でしたが、加藤さんは「私はもう既に76歳。自分がどのような状況になっているのかは理解している。覚悟も出ています」とあの元役者だったと言う張りのある凛とした声で挨拶された。その毅然とした断定的な口調に、私は一瞬マネージャー時代の上司だった加藤さんと同行したある取引先における出演交渉の一場面をフラッシュバックのように思い返しました。難問を要求し出演させてやると言わんばかりのプロデューサーの傲慢さを威圧するように「そのような現場にウチの役者を行かせることはできません！」とキツバリと断ってしまったのでした。出入り業者の弱い立場を越えて、不遜な態度で次々と難問を押し付ける若いプロデューサーを叱りつけてしまったのです。単に見境がなかったからと片付ける見方も出来ませんが、あの場面を思い起こす時、「マネージメントはこのようにやるのだヨ」と言わんばかりに毅然とした出演交渉の場を私に見せ付けて未熟な私を、暗に指導して下さったのだと、今では確信できるのです。お酒も好きだった加藤さんですが、私はよく加藤さんと歌舞伎町に呑みに出かけたものでした。私が連夜飲みすぎて体調を崩し、周辺から「靖国通り越境禁止令」がでた時も、歌舞伎町なら職安通り側から歌舞伎町に行けばイイじゃない。とトボけた知恵をさずけてくださったのも加藤さんだった。加藤さんは割合静かめの、和風の店がお好みで、女給さんには良くモテていたように、思います。カラオケは日雇い労働者たちの心情を切々と歌い上げた「鎌ヶ崎人情」が十八番でした。

弱者への支援の思いを一貫して訴え続けた加藤さんらしい名曲でした。心を込めて語りかけるように歌い上げる進平節は圧巻で聴衆は私と50年配の女給さんだけという構図でマイクを放さない加藤さんの独演会は明け方まで続き、歌い疲れると加藤さんは「マネ協」の重要さについて、私に説くのでした。弱者への思いが強い加藤さんらしく、「マネージャーは弱い立場だからこそ手を繋ぎ連帯すべきなのだよ」と労が出たばかりのマネ協を育てることの重要性を懇々と私に説くのでした。それも次の曲が出るまでの短な時間や問奏の間を縫って「マネ協を頼むゾ」という主旨のことを力強くおっしゃった。3月30日、告別式の日、出棺時は私が棺を担ぎ出して送ろうと心に決めていたのでイの一番に出棺を手伝った。76年間マネージメントと芸能界発展のために人生を費やした先輩の棺は拍子抜けするほど軽くて、やせ細るほどの長い闘病の苦しさを思いやったとき、少し涙がでた。(合掌)

「外画動画吹き替え放送50周年」記念イベント・記念パーティーの開催

日本語吹き替え版が放送開始50周年ということで音声連、日俳連、マネ協が三者合同イベント準備委員会を構成して準備や広報に取り掛かっています。

業界のお祭り。それはとりも直さず、業界の活性化につながると担当委員は張り切って取り組み中です。イベントのピークは10月25日赤坂プリンスホテルで開催される業界挙げての大パーティーとなります。各社のスタッフ・俳優はパーティー券を申し込みの上で参加願いたいと思います。相前後して「無声映画の吹き替え」や「シンポジウム」等、様々な関連イベントや周辺事業が企画されています。皆様のご協力とご参加をお願い致します。

イベント準備委員会： 江崎元理事、町田理事、野村理事、松田副理事長、大沢理事

～第2回マネージャー勉強会～「映像演劇マネージャー勉強会」



講師の浦井孝行氏

4月25日、芸能花伝舎にて、第2回マネージャー勉強会として、「映像演劇マネージャー勉強会」が行なわれました。講師には、国際放映㈱の取締役で映像企画部長、兼エグゼクティブプロデューサーの浦井孝行氏に来て頂きました。20社23名のマネージャーが参加し、制作側から信頼されるマネージャーとは？マネージャーに求められているものは？効果的な売り込み方法とは？等々、沢山の話を伺う事が出来ました。又、終了後も、半数以上のマネージャーが、浦井氏とお酒を酌み交わし有意義な時間を過ごしました。

所属俳優の「ブログ」にも関心を！

副理事長 松田咲實

去る5月16日の三団体実務小委員会において、音声連側より「出演者のブログ問題」が議題に上がり、現在、出演者がブログ上に書き記すことによる情報流出問題が頻発し、大きな問題になっていることが報告されました。

ご存知のように現代においてはインターネットの発達により、実演家が自分のファンに対するサービスやアピール目的で、ブログとして日記風に発信することが多くなりました。それに起因する情報流出事故が頻発して困っているというのです。俳優が、自分の出演している番組や作品の収録時・録音時のトラブルや事故をブログに書き記すことは、部外秘の企画内容や外部に漏れてほしくないトラブルやアクシデントがあったことを、一般の人が知り得るヒントを公表してしまうこととなります。製作サイドにしてみれば、あまり漏れてほしくない揉め事やトラブルを部外者に推測させることとなりますし、部外者から見れば、最良の俳優の周辺に起こった出来事として深く印象に残る情報となってしまう為、余計まずい事態になってしまうのです。

また、あるゲームソフトにおいては、若手声優が出演したことの嬉しさのあまり、出演の事実を日記に書いただけでしたが、結果として、そのゲームソフトメーカーの競合企業に発売が近いことのヒント情報を与えることになってしまい、先手発売され数億円という開発費が無に帰した、と製作者が嘆いていたことがあります。

守秘義務は、出演者・製作スタッフのマナーであるとの認識を持つ必要があり、各俳優プロダクションも所属者のブログには十分な関心を払い、指導を怠りなくお願いいたしたいと思います。それが取引先との信頼関係につながるものと確信いたします。

<PRE通信 その6> PRE事務局からご報告

PRE代表理事 守屋 俊郎

芸団協CPRAは6月から放送番組（部分使用を除く）の一任型権利処理を行います

俳優など実演家の権利を取り巻く昨今の状況は、政府の知的財産戦略本部が著作権法改正の検討を求める提言を公表するなど、極めて厳しい状況にあるといえます。それは、コンテンツが流通しない原因は権利者が許諾しないからだという誤った認識が業界内及び利用者を持たれているからだと思われます。それらを正す意味でも芸団協CPRAは許諾権の一任型集中管理に踏み切ったわけですが、私どもPREもそれに賛同し、放送番組二次使用（全部使用のみ）の権利処理をCPRAへ複委任することにしました。

CPRAが権利者から一括して許諾を頂くことによって、利用者である放送局などはCPRAによって公開される許諾者リストを利用番組の出演者と照らし合わせることで、容易に番組販売やビデオ製作が可能となって商行為がスムーズに行われることとなります。利用者側が一任型権利処理を歓迎する理由です。番組販売等が容易となれば番組利用が確実に増え、また許諾の事務作業が簡単になればCPRAの仲介手数料も引き下げられ、実演家には、今まで以上の二次使用料が支払われることとなりましょう。但し今後は事前の許諾確認がありませんから、自分の出演番組がビデオ化やインターネットに流されてから、その番組は、世の中に出さないでほしい。と言うことは原則できないこととなります。そういうことから、改めて委任状の提出をお願いしている次第です。マネ協社員事業者の皆様にはご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

権利処理・活動報告

権利処理担当理事 守屋 俊郎

契約書を交わすのは誰のため？

出演時に放送局や制作会社と契約書を交わすことを、マネ協ではひと頃、積極的に勧奨していました。出演条件等で後々揉めたりしない様にと考慮してのことです。しかし、ギャラがノーランクかマル特扱い、又はレギュラー出演といった特定の俳優さんを除いては、こちらがお願いしても相手先は中々に契約書を交わしてくれませんでした。恐らくは、ただ単に面倒だったからではないかと思えます。プロダクション側も、あまりしつこく要望しては営業に差し支えますし、契約書を交わさなくても滅多にトラブルことはありませんでしたから、長らくそれはそれで済まして来ました。

ところが最近、放送局から覚書、確認書、契約書の類でしきりにプロダクション、又は俳優本人から了承の署名印を得ようとしているケースが数多く見受けられるようですが、なぜでしょう。

文書入手して内容を確認したところ、二つの理由がクローズアップされます。一つは、番組制作上の守秘義務についてです。製作局の公式発表以前に、知り得た番組の情報を他に漏らさないで、特に自身のホームページ上に事前に公開などもっての外、守らないと罰金を頂くこととなりますよ、といった条文。実際、実演家の安易な行動で情報が漏洩し番組スポンサーが莫大な損害を被ったなどの例を、時として耳にしますから、製作局が一筆交わしたいのも当然のことと理解します。さて、二つ目の契約理由は、当該放送番組の二次使用の許諾の取り付けですが、ご承知のように、放送番組

を二次使用するためには、原作者や脚本家は勿論のこと出演の俳優の一人一人から使用許諾を得なければなりません。

使用時に改めて許諾を取ることの煩雑さを避けるために、事前に得ておこうとのことだとは思いますが、覚書によっては使用料を極力支払わないで済ませようとする文言が散見され、実に嘆かわしい現状です。共存共栄がマネ協のモットーですが、一部の放送局においては、実演家の権利を尊重する姿勢など、いささかも無いといった状況です。

加盟事業者から、どのように対応すべきか既に多くの相談を受けていますが、マネ協の方針としましては、買い取り契約には基本的に応じるべきではないという考えです。通常頂いている出演料に対し、十分に納得できる割り増し料金が加算されるのであれば、プロダクションの判断で了承しても良いとは思いますが、ほとんどは、通常出演料にさほど加算されることのないのが実態です。どうぞ納得できる契約でない限り、「マネ協の方針で、権利処理はPREに一任で委任しています。二次使用に関しては、別途協議にして頂きたい」と、その旨を製作局に伝え、文言の書き直しがなされない限り、署名しないで下さい。それによって不都合が生じた場合、マネ協又はPREに連絡するよう先方をお願いするか、プロダクションが直接、マネ協・PREの事務局にご連絡下さい。一方だけに都合の良い契約書は優越的地位の濫用と申せましょう。

「新潟県知事より、マネ協に感謝状」

新潟中越地震の被害者に義援金を送ろうとマネ協が募金活動をして新潟県東京事務所に贈呈した活動に対し、過日新潟県知事より「感謝状」が届けられました。募金活動の担当理事だった、江崎元理事は「法人化になって、社会に役立つ活動が評価されたことは大変喜ばしい」と感想を述べられました。

謹啓

厳寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびの新潟県中越大震災に際しましては、心温まる義援金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

皆様からお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社や被災市町村などで構成する義援金配分委員会で配分を決定し、被災者の方々の一日も早い生活再建に役立てていただけるよう着実に届けさせていただきます。

新潟県としましては、皆様からのご支援を胸に刻み、「元氣だしていこー！新潟」を掛け声に、地域の復興に向けて全力でとり組んでいきますので、今後ともご理解とご支援をお願いいたします。

このたびお寄せいただいたご厚情に対し、略儀ながら書中をもってお礼申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

平成十八年一月

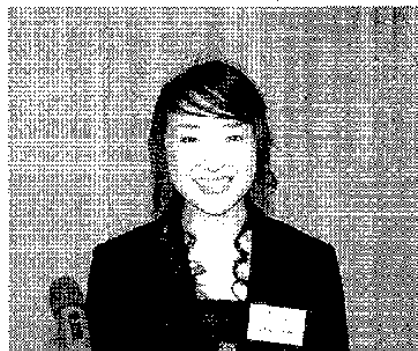
新潟県知事 泉田裕彦

敬 具

日本芸能マネージメント事業者協会 様

新年会報告

★本年1月18日、主婦会館プラザエフにおいて、恒例の新年会が開催されました。会員・来賓合わせ70社153名の方々のご参加により、盛況に新年を迎えました。



担当理事の要望「綺麗どころ」に応え、司会はアーツビジョン所属の早水リサさん。



昨年の締めは万歳三唱でしたが…今年はいそぎ三本締め

■マネ協・新年会に景品提供を頂きましたこと、理事会一同厚く御礼を申し上げます。

- ㈱アーツビジョン
- ㈱アイムエンタープライズ
- ㈱青ニプロダクション
- ㈱アクセント
- アスク・マネージメント
- ㈱岩淵ぐるうぶ
- ㈱ウィットプロモーション
- ウィナー㈱[ういなあエンタテインメント]
- ㈱81プロデュース
- ㈱エスプレイング
- M.M.P
- ㈱えりオフィス
- ㈱円企画
- ㈱オフィス薫
- 銀プロダクション
- 劇団グスタフ [㈱オフィスK&K]
- ㈱ケッケコーポレーション

- ㈱賢プロダクション
- ㈱元氣プロジェクト
- ㈱現代制作舎
- ㈱ケンユウオフィス
- ㈱さち子プロ
- ㈱オフィスCHK
- ㈱シグマ・セブン
- ㈱仕事
- ㈱スターダス・21
- 劇団昴
- 青年座映画放送㈱
- ㈱プロダクション・タンク
- ㈱テアトル・エコー
- ㈱TABプロダクション
- ㈱プロダクション東京ドラマハウス
- 東京俳優生活協同組合
- ㈱中里事務所

- ㈱ぶろだくしょんバオブ
- ㈱ビーボ
- ㈱B-BOX
- プランニングメイ㈱
- ㈱プロ・フィット
- ㈱劇団文化座
- ㈱文学座
- ㈱放映新社
- ㈱マウスプロモーション
- ㈱ミズキ事務所
- ㈱ムーブマン
- ㈱メディアフォース
- ㈱オフィスもり
- ㈱ゆーりんプロ
- ㈱ラヴァンス
- ㈱オフィス・ワット
- ㈱ワンダー・プロダクション

[マネ協・会員事業者リスト：118社/h.18年6月]

- | | | |
|----------------------|--------------------|----------------------|
| (株)アーツビジョン | 劇団グスタフ[株オフィスK&K] | (有)中里事務所 |
| (株)アイエス | クレイン・リバー[株アラガ・イ内] | (有)劇団21世紀FOX |
| (株)アイムエンタープライズ | (株)黒沢良事務所 | オフィス野沢 |
| (株)青ニプロダクション | (有)ケッケコーポレーション | (有)劇団俳優座 |
| (株)アクセント | (有)賢プロダクション | (株)ぶろだくしょんバオバブ |
| アクターズ・カンパニー | (有)元氣プロジェクト | オフィスP. A. C |
| (株)アクターズセブン | (有)現代制作舎 | (有)ビーボ |
| (株)アクターズプロモーション | (有)ケンユウオフィス | プランニングメイ(有) |
| アスク・マネージメント | (株)コスモスペース | (株)古館プロジェクト |
| (株)アドヴァンスプロモーション | (株)さち子プロ | 劇団文化座 |
| (有)アルファエージェンシー | (株)三桂 | (株)文学座 |
| (株)アンクルベイビー | (株)CSRコーポレーション | (株)放映新社 |
| (有)あんどろ | (株)オフィスCHK | (株)宝映テレビプロダクション |
| イースプリング[有)スタジオ藍丸] | (有)ジェイ・クリップ[リベルタ] | (有)劇団朋友 |
| (有)イイジマルーム | (株)シグマセブン | (有)プロ・フィット |
| (有)イエローテイル | (株)仕事 | (株)舞プロモーション |
| 声の劇団イマージュ | (有)シス・カンパニー | (株)マウスプロモーション |
| (有)岩淵ぐるうぶ | (株)ジンズ | (有)オフィスまとは |
| (株)ウイットプロモーション | (有)スターダス・21 | (有)ミズキ事務所 |
| (有)ヴィーヴ | 劇団昴 | (株)劇団民藝 |
| ウィナー(株)[ういなエンタテイメント] | 青年座映画放送(株) | (株)ムーブマン |
| (有)エーエス企画 | (有)宝井プロジェクト | (株)バーディ企画 |
| (有)ぶろだくしょんA組 | (有)田上事務所 | (有)B-BOX |
| (株)81プロデュース | (有)竹内事務所 | (有)プロジェクト・メガリス |
| (有)エスプレイング | (有)プロダクション・タンク | (有)メディアフォース |
| (株)エヌ・エー・シー | (株)テアトル・エコー | (有)オフィスもり |
| (株)エ・ネスト | TAG(東京アナウンス学院) | (株)矢島聰子事務所 |
| (株)エム・アール | (有)TABプロダクション | (有)山田栖峯子事務所 |
| M. M. P | D・R・A[株放送表現教育センター] | (有)性プロダクション |
| (有)エムカンパニー | (株)ディー・オー・エー | (株)ゆーりんプロ |
| (有)えりオフィス | (株)オフィス・テン | (株)ヨコザワ・プロダクション |
| (株)円企画 | (有)t o o d o | (有)ライオン・カバニ-田畑富久子事務所 |
| (株)大沢事務所 | (有)東京芝居倶楽部 | (株)ラヴァンス |
| (有)大平プロダクション | (有)プロダクション東京ドラマハウス | YAG(代々木アニメーション学院) |
| 落合事務所 | 東京俳優生活協同組合 | (株)若プロダクション |
| 劇団襷 | (株)同人舎プロダクション | (株)劇団若草 |
| (有)オフィス薫 | (株)劇団東俳 | (有)オフィス・ワット |
| (有)活動屋 | (株)オフィス・トクヒロ | (有)ワンダー・プロダクション |
| (有)キリンプロ | トム・プロジェクト(株) | |
| 銀プロダクション | (有)トリトリオフィス | |

賛助会員一覧

(2006年6月現在)

- <法人> (株)NHKエンタープライズ21
 (株)オセロット
 紀伊國屋ホール
 (株)C. A. L
 松竹(株)
 松竹京都映画(株)
 (株)テレビ朝日

- (株)テレビ東京
 (株)東京演劇音響研究所
 (株)TBSテレビ
 (株)日本劇団協議会
 日本テレビ放送網(株)
 (株)俳優座劇場
 (株)フジテレビジョン

- <個人> 山岸 伸

■(賛助会員)加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。
入会の際は理事の推薦が必要です。
- 会費は <法人> 1口 100,000円
<個人> 1口 30,000円
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場券等々です。

MOVEMENT REPORT

<2006年1月>

- 11日 常務会・第13回定例理事会 (マネ協)
- 16日 NAS・三者 [マネ協・日俳連・音声連] 会談 (日俳連)
- // 三者合同イベント準備委員会広報部会 (音声連)
- 18日 TV番組の二次利用を考える委員会 (主婦会館プラザエフ)
- // 新年会 (主婦会館プラザエフ)
- 23日 三者合同イベント準備委員会 (日俳連)

<2006年2月>

- 7日 スカウトオーディション打ち合わせ (PRE)
- // NHK・三団体 [マネ協・劇団協・日俳連] 会議 (NHK)
- 9日 ATP・マネ協会談 (ATP)
- 13日 三者合同イベント準備委員会 (音声連)
- 14日 常務会・第14回定例理事会 (マネ協)
- 15日 第1回法務委員会 (マネ協)
- 28日 三団体会議 (テアトル・エコー)
- // 第19回PREセミナー (恵比寿エコー劇場)

<2006年3月>

- 3日 劇団研究所卒業生スカウトオーディション (恵比寿エコー劇場)
- 13日 三者合同イベント準備委員会 (都庁)
- 15日 常務会・第15回定例理事会 (マネ協)
- 16日 第2回法務委員会 (マウスプロモーション)
- 20日 芸団協総会 (東京オペラシティタワー)
- 22日 三団体 [映像対策会議] (日俳連)
- // マネ協プロデュース演劇公演製作委員会 (マネ協)
- 26日 加藤進平 元事務局長、逝去
- 28日 マネ協プロデュース演劇公演製作委員会 (マネ協)
- 30日 動画協定に関する三者打ち合わせ (日俳連)
- 31日 PRE説明会 (俳優座劇場)

<2006年4月>

- 5日 動画協会・三者、会議 (青二プロダクション)
- 7日 三団体 [映像対策会議] (花伝舎)
- // 三者合同イベント準備委員会広報部会 (音声連)
- 10日 三者合同イベント準備委員会 (日俳連)
- 11日 マネ協プロデュース演劇公演製作委員会 (マネ協)
- 12日 常務会・第16回定例理事会 (マネ協)
- 17日 三団体 [映像対策会議] (日俳連)
- 21日 三者合同イベント準備委員会広報部会 (音声連)
- // 「運用表」説明会 (花伝舎)
- 25日 映像演劇マネージャー勉強会 (花伝舎)
- 26日 三団体 [映像対策会議] (日俳連)
- // 第3回法務委員会 (テアトル・エコー)

<2006年5月>

- 8日 会計監査 (マネ協)
- 9日 拡大常務会 (マネ協)
- 10日 動画協会・三者、会談 (青二プロダクション)
- 16日 三者合同イベント準備委員会 (日俳連)
- // 三者実務小委員会 (日俳連)
- 17日 三者合同イベント準備委員会広報部会 (音声連)
- 23日 常務会・第17回定例理事会 (NHK 青山荘)
- // 第3回社員総会・懇親会 (NHK 青山荘)
- 24日 映画動画若手マネージャー勉強会 (花伝舎)
- 25日 マネ協プロデュース演劇公演製作委員会 (マネ協)
- // 第4回法務委員会 (青二プロダクション)
- 26日 三団体 [映像対策会議] (日俳連)
- 29日 演劇公演オーディション (花伝舎)
- 30日 // (宝映テレビプロ)

マネ協新加入事業者の紹介

(有)B-BOX

〒156-0055
世田谷区船橋
5-35-2

TEL: 5316-4401
FAX: 5316-4402



代表者
井上 和彦



社員代表
五十嵐由和

(株)バーディ企画

〒143-0016
大田区大森北
1-33-3晴美ビル2F

TEL: 3761-8121
FAX: 3761-6721



代表者
杉山 葉子

社員代表
同左

(有)イエローテイル

〒176-0005
練馬区旭丘1-65-20
NSセントラルハイム 601

TEL: 3950-2024
FAX: 5996-7628



代表者
沢田 和美

社員代表
同左

(有)惟プロダクション

〒106-0045
港区麻布十番
1-5-12-304

TEL: 5414-2476
FAX: 5414-2469



代表者
鈴木 恭二

社員代表
同左

【退会事業者】

・(有)イーアンドエー ・(株)クオレ ・(株)ソーラーカンパニー



毎号ながら古すぎるニュースで申し訳ありません。編集子の故郷、宮城の「東北楽天イーグルス」の野村克也監督のような芸能マネージャーが理想とを感じる時が最近あります。楽天はご承知のように我が故郷に突然アダ花のように咲いた球団であります。なんとと言っても選手がイケナイ。プロなのにちっとも練習しないプロなのでアリマス。タレント気取りでローカル局の「とっともイーグルス」などというふざけたバラエティー番組なんかに出演し地元ファンの気を揉ませている。プロ野球界の連敗記録を更新したり、23対0などと信じられないスコアで大敗し一時は絶不調だった読売巨人軍らと共に草野球チームに区分されると言う噂が流れた。ジャイアンツの首脳陣は萩本欽一氏率いる「欽チャン球団」の挑戦状を上下座してかんべんしてもらったらしい、我が楽天もあわや草野球リーグに追いやられそうになった時、颯爽と楽天グラウンドに舞い降りたのが野村監督なのです。私のイメージでは、スーパーマンよろしく、唐草模様風呂敷をマントに肥だめの香りがほのかに匂うグラウンドに救世主のごとく舞い降りたに違いないのです。なんとも頼もしいのは自分のチームを盛り上げ守りぬくという姿勢がすばらしい!芸能マネージャーにスカウトしたいような惚れ惚れする活躍ぶりなのである。極めつけは「ゲームで負けても、口で負かす」と広言しているあたりがマネージャーに不可欠な負けん気を見た気がします。楽天がブッチぎりの最下位から脱出する日も近いぞ。今回は楽天・巨人両ファンに懺悔。ノムさん風ボヤキになったこととお詫びします。(編集部・松田咲賀)

マネ協

題字 杉村 昭子

有限責任中間法人
日本芸能マネージメント事業者協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿
1-24-7 ルネ御苑プラザ 309
TEL. 03 (3225) 5984
FAX. 03 (3225) 5949
E-mail: manekyo@manekyo.com
http://www.manekyo.com
発行日 平成19年1月10日
発行人 久保 進
編集人 松田 咲實
印刷 副 谷本 企画

M A N A G E M E N T R E P O R T

「外画動画吹き替え放送50周年記念」記念パーティーを開催！

業界三団体が一枚岩に結束

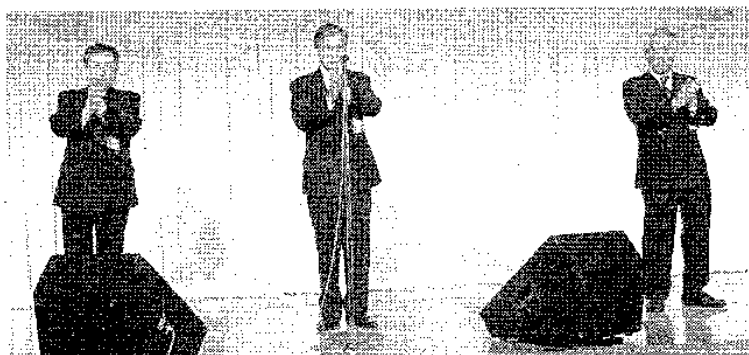
外画動画吹き替え放送開始50周年を迎え、10月25日に赤坂プリンスホテル「五色の間」において記念パーティーが開催されました。1年以上前から業界三団体（マネ協・日俳連・音声連）は実行委員会を構成し、華々しく内外にアピールして吹き替え業界の活性化につなげたいとの目論見もあり、業界総力を挙げて準備を進めていたのです。次回開くとすれば50年後なので、再び出られる人はいない貴重なパーティーということで、実行委は手分けして準備万端の体制で望みました。何しろ業界関係者二千人を越える大パーティーですから、手違いや失敗は許されません。三団体の実行委・幹事は二十数回に及ぶ準備会議を経て、この記念事業を成功に導こうとホントの一枚岩になれたと実感する祝賀パーティーでした。祝辞をNHK橋本会長、テレビ朝日君和田社長、乾杯を日本動画協会松谷理事長に頂き、更に在京民放キー局からフジテレビジョン村上社長、テレビ東京菅谷社長もお祝いに駆けつけて下さるなど盛況を極める大パーティーとなりました。吹き替え初期に活躍した声優さん達が勢揃い、懐かしい吹き替え仲間と再会し手を取り合っている姿は印象的なものでした。ある時期は権利問題をめぐって対立し不協和音に揺れた業界が、更なる発展を目指し結束する姿は眩しく嬉しいものでした。周辺事業として開催された「吹き替えの歴史を学ぶセミナー」は、新人声優や若手スタッフに声優さんの運動の歴史や現在のルールなどを判り易く解説したセミナーで、ベテランマネージャーが講演協力して盛況好評のうちに実施されました。また識者に好評だった「声優による無声映画のライブ公演」は、文化的意味合いの高い価値あるイベントと評されたそうです。更に特筆すべきは、パーティー出席者全員へのお土産、記念冊子・時計・デイズニーさんが提供して下さったキャラクター入り帽子とTシャツの4点セットも好評で、50周年パーティーは成功裏に終了しました。皆さんありがとう御座いました。



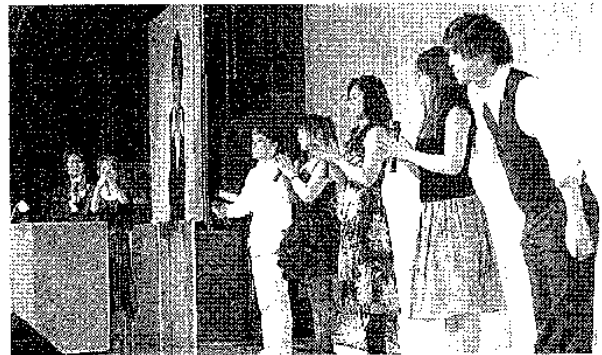
多くのご来賓が駆けつけて下さいました



佐々木功さんの熱唱！



業界三団体の実行副委員長による手締めで閉幕



司会や合唱で若手声優さん達も参加

(レポート・編集部 松田)



新年ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

さて、私たち芸能マネージメント事業者を取り巻く環境は少しずつ好転の兆しを見せ始めています。

しかし日本経済の影響を敏感に受ける私共の業界は、必ずしも樂觀を許さないものがあります。所属実演家の権利を擁護し出演条件改善に向けた動きには同調し、共同歩調をとる姿勢を明確に表明していくことも重要になるに違いありません。

昨年 マネ協は二つの大きなイベントを実施いたしました。すなわち「外画動画吹き替え放送五十周年記念事業」と「マネ協第一回プロデュース公演」です。初めての取り組みでもあり曲折もありましたが、結果としてはマネ協の評価、イメージアップに繋がる実績を残せた両イベントであったと確信します。

私たちの業界を守り発展に導くためには、幅広い視野に立ち、発想の転換をしなければならぬ場面も多分にあることでしようが、マネ協理事会はわが業界の発展のためには努力を惜しまず積極的に取り組んでまいります。芸能マネージメントという困難を極める業界に身を置く私たちが、手を携え、連帯していくことこそが重要不可欠な事と思います。

今年も会員事業者の皆様と共に発展するマネ協でありたいと理事会は念願いたします。

平成十九年 新春

有限責任中間法人

日本芸能マネージメント事業者協会

理事会一同



ガンバレ！久保理事長

久保理事長が闘病中です。実は理事長が病に臥してしていることは特に会報ではお知らせ致しませんでした。が昨春、高血圧性脳内出血にて救急搬送され入院いたしました。退院後リハビリ専門病院で治療し、かなり回復に漕ぎ着けましたがまだ完全な回復とはいえない状態です、落ち着いて治療に専念させたい。という理事会の意向もあり、公表を避けてまいりました。しかし今回、いつまでも会員事業者に伏せたままにしておくのは如何なものかという意見もあり、お知らせすることになりました。理事長は少しずつ回復しつつあり、時々事務所にも顔を出せるようになったとのことです。理事会と致しましても大切なことをお知らせせずに参加したことをお詫び申し上げます。みんなで理事長の早い回復をお祈りしましょう！



『かくれんぼ』上演始末記

豊田 紀雄 記

シアターVアカサカの客席は、建物の地下二階にあたる所に有り、芝居を観終わった客は、エレベーターもエスカレーターもない階段をゆっくり上がってくる。みんな目をまっ赤に充血させている。何人かはすすんでアンケート用紙を求めてエンピツを走らせる。今まで舞台にいた役者が化粧のままロビーに現れ、客と抱き合い、笑い、談笑する。熱い空気が一段と濃厚になる。企画を立ててから半年以上の苦勞がいつべんに吹き飛んだ。



昨年守屋理事から、CPRAからマネ協に助成金が支給されることになったので、演劇か映画の製作をしたらどうかという提案がなされた。直ちに全員一致で演劇製作をすることに決定した。映画製作は、五年ほど前、熊野理事が中心となって企画を進めたにも拘らず資金面、及び内容などの問題から頓挫した苦い経験があるのと、演劇製作のプロが沢山いるのだから、当然演劇に落ち着いた訳だ。早速演劇製作委員会が構成され、台本、演出家選びが始まったのである。若手に出演機会を設けると言う大前提があるので、少人数の演目や、あまり金のかかるものは除外された。加藤道夫の“なよたけ”田中千示夫の“自由少年”俳協で上演した二十五人程の出演者の創作劇といる候補作が上がったが、いくつかの欠点はあるが、井保三兎作“もういいかい”まあだだよに決定した。同時に演出家は久世竜之介に決まり、キャストの準備に入る。準備稿の台本を10冊以上印刷し、加盟会社へ閲覧の知らせを事務局から発信。直ちに50社近い会社のマネージャーが台本を読みに来ての売り込み。150人以上の役者の候補が出そろった。主役の男女、弟、友人、恋人、マネージャー、公園のパフォーマーを除いてダブルキャスト。書類審査で落とすことなく、全員オーディション。

オーディションは会員会社放映テレビの稽古場で2日間かけて行われた。製作委員は全員、仕事をやりくりして立ち会う。ギター演奏、歌唱力、踊り、台詞、動き。若者たちの汗が飛び落ちる。目の輝き、緊張感、涙。見ている委員達も若者たちの情熱に引き込まれる。慎重な審査の結果、未完成だが魅力的な若者たちが決定した。他の大人のキャストは、各事務所の推薦する人たちの中で選ぶ。これが見事にはまった。さすが、マネ協のマネージャー達だ。確かな目、自信。

台本は、守屋理事が大巾に加筆訂正する。まず、主人公の男を歌手志望から役者志望に変える。業界の話と家族の話をていねいに描く。結果、厚みが増し、感動作になった。あとは名手、久世竜之介の手にゆだねる。



森下町のペニサンの稽古場での顔合わせの二日前に主人公二組の男女の音楽稽古。浜田伊織の熱心な指導により、声が少しずつ出るようになる。ギターも上達するが、まだまだ。

久世の稽古の進め方は早い。顔合わせの三日目から、台本を持ち乍ら立ちに入る。有能な舞台監督杉野信之と助手により必要な小道具やテーブルが運び込まれる。役者の方がついて行けない。

仕事が入っていたり、病人が出たりで、全員揃う稽古がなかなか出来ない。演出助手や舞台監督助手や若手役者達の代稽古が続く。歌もギターも上達が止まった。はたしてこれで幕が開くのだろうか。

理事達は手分けしてパンフレットの広告取りやチケット売りに忙しい。その間にもちよくちよく稽古場に顔を出す。

紀伊国屋演劇賞、読売演劇大賞受賞した演出家久世竜之介の演出力は確かだ。芝居が立ち上がってきた。中堅役者達の熱意と指導で若者たちが刺激を受けて、初日を間近に控えて充実してきた。病院のシーンでは観ていて涙がこぼれる。笑える所は大いに笑える。家族の愛情に胸が詰まる。これなら安心だ。後はもう少しチケットがさばれば、プロデューサーや演出家達に劇場に足を運んでもらわなければ、やるいろいろなありすぎて混乱。



稽古場のある森下町、両国近辺は安くて旨い居酒屋が沢山ある。役者達は帰りに立ち寄り演技の話。スタッフ、キャスト全員が素晴らしい人たちばかりだ。時間があっという間に過ぎて行く。なんという充実。不安と幸福。

楽屋作り、大道具、照明機材の搬入、舞台美術の組立、若手役者全員が働く。幕が開くとダブルキャストの空きの役者達は、受付から会場案内まで引き受ける。勿論演技力も素晴らしい。“かくれんぼ”にかかわった人たちの幸運を願わずにいられなかった。それにしてもこの製作を熱心に押し進めていた三人の人、久保進、梅田濠二郎、そして夏に亡くなった大沢事務所の大澤和男氏が客席にいなかったのは本当に残念なことであった。

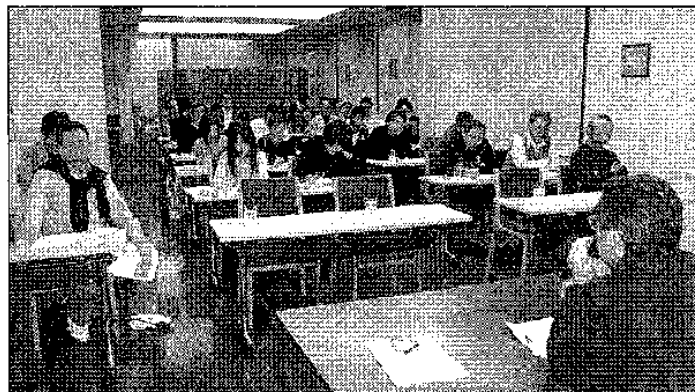
第8回 マネ協研修旅行 in 鬼怒川温泉

恒例のマネ協研修旅行は昨年11月23日・24日に晩秋の鬼怒川温泉「ホテルハーヴェスト鬼怒川」で22社38名が集い開催されました。

今回の研修会のテーマは、芸団協を始めとする実演家・事業者団体について概要説明や団体間の関係の解説、俳優の所属契約書（マネ協・法務委員会作成）に関する説明、今後のマネ協の在り方、等でした。山崎副理事長の挨拶で研修会は始まりました。これまでの研修旅行で色んな知恵が生まれマネ協の発展に役立ってきたので、今回の研修旅行でも多くの事を学んで、今後のマネ協の進むべき道を皆さんで築き上げて欲しいと訴えました。続いて守屋理事から資料に基づいて、芸団協を始めとする実演家・事業者団体について概要説明や団体間の関係の解説がありました。

まず、(社)日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕(71団体、8万名の実演家等が結集)、についての説明です。そして、(社)日本音楽事業者協会〔音事協〕(100社6千名、渡辺プロ、ホリプロ、サンミュージックなどアーティスト、マネージメント・ビジネス)についての概要説明。次に、(社)音楽制作者連盟(音制連)(218社で構成)の説明です。この三団体、芸団協、音事協、音制連の協力の下、1993年10月に、実演家著作権隣接権センター(CPRA)が発足し、著作権法等に基づく実演家の権利処理業務、徴収と分配の作業を行っています。さらに、映像実演権利者合同機構(略称PRE、プレ)についても説明がありました。こうした団体のなかで、守屋理事は法人化されたマネ協が本来果たすべき役割と重要性について強調しました。

オーディオ関連の報告は町田理事が行いました。音声連、日俳優連、マネ協の三団体の説明、実務運用表、昨年10月25日



の吹き替え50周年パーティー、セミナーでの20分スライド、放芸協、紫水会、日俳優連発足、マネ協設立等歴史を交えて熱く語りました。また、平成20年9月締結を目指して動画協会との交渉が今年度の最重要課題になると強調しました。

続いて、所属契約書について、守屋理事から説明がありました。所属契約書については、法務委員会(委員長、羽佐間圭介)において昨年2月から9回会議をもち、法務アドバイザーとして山崎卓也弁護士から助言も得て、作られたものです。マネ協会員の皆様に活用して欲しいと話されました。

守屋理事、町田理事の報告説明が終わり、質疑、意見交換が行われました。質問のなかでは、私的録画保証金の中でナレーターの仕事を見逃さないで欲しいとの要望がありました。あっという間に、研修会が終わりました。

夜の宴会では、一人ずつ自己紹介がありました。今回初めて参加する人、何度も参加している人もいて、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。飲み会部屋では、深夜遅くまで遅々と飲み語りが見えませんでした。

今回の研修旅行でも話題にしましたが、映像関係は、同じテレビドラマ作品にも拘らず、局制作の作品は二次使用料が発生しますが、下請け制作会社の作品は買い取りシステムで二次使用料を貰うことが出来ないという現状を打破するため、三団体で「映像対策会議」を発足し運動を始めており交渉も始まります。オーディオ部会では、動画協会との交渉が重要な課題となっています。マネ協の果たす役割は益々重要になっております。では、今年の秋の研修旅行を楽しみに!!

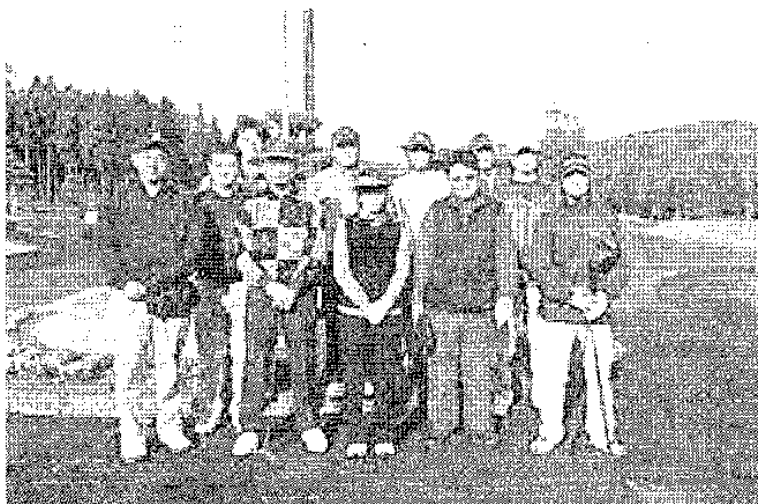


部屋に集まったの飲み語り

対内業務委 亀井 俊夫

第2回 マネ協ゴルフコンペ開催!

- 優勝 羽佐間圭介
- 2位 本田 太郎
- 3位 南沢 道義
- 4位 池田 克明
- 5位 町田 泉
- 6位 竹内健次郎
- 7位 石手 篤至
- 8位 後藤 慎人
- 9位 松島 紀子
- 10位 しろがねしょおむ
- 11位 辻子 恵弘



優勝の羽佐間氏

大澤和男理事 がご逝去！

(株)大沢事務所 代表取締役社長でマネ協理事の大澤和男氏が去る7月23日、すい臓がんのため入院先の病院でお亡くなりになりました。「お別れの会」は業界関係者が集まって8月12日ホテルニューオータニ「芙蓉の間」にて花一杯に囲まれてしめやかに営まれました。大澤氏はCM界の売れっ子マネージャーとして大活躍して今日の大沢事務所を築きました。後任の新社長には大沢事務所創業時からの同士である森田十三江氏が就任しました。



高賢治元理事の談話

明るくて元気でスカッとした、いい人でした。大澤さんの人なつこい明るい天性の笑顔は誰とでも友人になれる優しさに満ちたものでした。事業も軌道に乗り、これからという時でしたので本人も無念であったと思います。いい人を亡くし残念です

おわかれに

大澤ちゃん、ありがとう！あなたの少年のように純朴で無骨な優しさがみんな好きでした。アチラでは毎日毎日ゴルフばっか、日暮れまでゴルフばっかおなかいっぱいやっててイイからネ。

(編集部M)

マネ協 「新年会」のお知らせ

●日 時

平成19年1月17日(水)
18時30分～(開場18時)

●場 所

コパTOKYO

●会 費

6000円

.....
*50周年パーティーのおみやげセットをご希望の方は、会費7000円となります。
詳細は事務局からのご案内書をご覧ください。

空き巣にご用心！！



去る9月28日、マネ協事務局に空き巣が入り、現金数万円とデスクトップパソコン、カメラ等が盗まれました。幸い、入居時に加入した火災保険が盗難保障もしており、保険金で全て補填され金銭的被害はゼロでしたが、事務データがパソコンごと無くなった為、2ヶ月前のバックアップデータからやり直す羽目になりました。

犯人は非常階段の手すりを乗り越えて建物に侵入、パールのようなものでドアをこじ開けた様です。又、同じ階でもう1件被害があり、やはりパソコン等を盗られたとの事。事務局は、正面玄関はオートロックで、管理人または警備員が常駐しておりますが、それでも万全では無いようです。最近、芸能事務所を狙った空き巣も続いています。会員の皆様におかれましても、侵入防止は勿論、被害を最小限にする方策もとるなど、充分にご用心下さい。

(マネ協事務局)

<PRE通信 その8>

PRE代表理事 守屋 俊郎

■所属俳優の委任関係は？

9月1日、芸団協加盟のある音楽系団体の不祥事が、新聞各紙からいっせいに報道されました。それは権利者に支払うべき分配金の流用、委任関係のない権利者の分配金の不正受領などが発覚して、当該団体が文化庁から業務改善命令の指導を受けるとともに、実演家著作隣接権センター（CPRA）も、管理責任を問われ同様の指導を受けたとのことでした。CPRAにとっては寝耳に水のようなことで、多分に不可抗力的な事件といえますが、団体の申告を鵜呑みにして権利者と団体の委任関係を書面等で確認もしないで分配業務を進めたことは、たとえ信頼に基づいてとはいえ大いに反省すべきことでした。

さて、再度同様の事件があつては権利者からの信頼を失うばかりか、今後の実演家の権利処理事業を阻害することにもなりかねないとCPRAは業務改善計画を着々と推し進めています。まず行ったことは、分配金の支払の現状確認。また、権利者団体と権利者、事務所と所属実演家との委任関係の実態調査。共に不備があれば速やかに改善指導にあたるということでした。

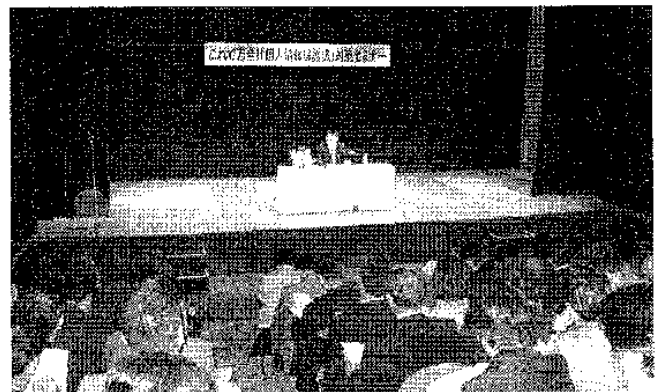
PREの現状をこれらに照らした場合、CPRAからの分配金及び部分使用料等のPRE直接業務からの入金の規定の手数料を頂いて後、確実に権利者へ分配しており、かつ各帳簿類、現金、預金の確認等を、毎日の事務局内チェック、週に1度の代表チェック、月に1度の監査法人チェック、半期ごとの監事チェックと3重4重のチェックを重ねており、金銭上の事故等の発生は起こり得ないと自信を持ってCPRAに、そしてマネ協をはじめとするPRE構成団体及び権利者に対して申し上げることができます。

問題があるとするならば、委任関係にあると思われます。PREは構成団体系の事務所及びフリーの実演家、ノンメンバーの事務所及びフリーの実演家というように、権利者から4通りの委任を受けています。フリーの実演家は構成団体系、ノンメンバー共にダイレクトに委任状をPRE宛に頂きますから誤記入がない限り、明確な委任関係が成立していますが、事務所委任の場合、所属実演家を一覧表のみで一括してPREに届け出るようになります。

■所属契約書 交わしていますか？

所属契約書が交わされていて権利の譲渡や委任が条文に盛り込まれているならば委任関係はそれで明らかですが、事務所と所属実演家の委任関係が不明瞭であった場合、不正の余地があるとしてCPRAからPREに改善の指導が行われることとなります。

現在のPREの個人用と事務所用の委任状はホームページ上で公開していますが、権利者の多くからは同様の委任状をご提出頂いています。CPRAの指摘によれば特に不備ということではないが、委任関係をより明確にするならば、所属実演家一覧表において一人一人から捺印を頂くことが望ましいということです。PREは新たなフォーマットを作成して近々、HP上に公開いたしますが、新規の委任にはどうぞご利用下さい。



PREセミナー風景。

講師：PRE顧問弁護士 金澤先生

於： 恵比寿 エコ劇場

法人税・所得税・相続税・その他税務一般

新木会計事務所

税理士 新木 敬 治

税理士 新木 昭 治

所属 東京税理士会 神田支部

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1丁目1番地 酒井ビル

TEL:03-3293-7956・7 FAX:03-3293-7958 ●E-mail k-araki@ff.iij4u.or.jp

★今年も個人確定申告の時期が参りました。個人事業者の皆様がご納得いただけるようお手伝いさせていただきたいと考えております。お気軽にご相談下さい。

[マネ協・会員事業者リスト：125社/h.19年1月]

- | | | |
|------------------------|---------------------|----------------------|
| (株)アーツビジョン | 劇団グスタフ〔株)オフィスK&K〕 | (有)中里事務所 |
| アール・エム・イー(株) | クレイン・リバー〔株)ラガ・イ内〕 | (有)劇団21世紀FOX |
| (株)アイエス | (株)黒沢良事務所 | オフィス野沢 |
| (株)アムエンタープライズ | (有)ケッケコーポレーション | (有)劇団俳優座 |
| (株)青ニプロダクション | (有)賢プロダクション | (株)ぷろだくしょんバオバブ |
| (株)アクセント | (有)元気プロジェクト | オフィスP.A.C |
| アクターズ・カンパニー | (有)現代制作舎 | (株)バーディ企画 |
| (株)アクターズセブン | (有)ケンユウオフィス | (有)ビーボ |
| (株)アクターズプロモーション | (株)コスモスペース | (有)B-Box |
| アスク・マネージメント | (株)さち子プロ | LLC 平野企画 |
| (株)アズリードカンパニー | (株)三桂 | (有)ファイブ エイト |
| (株)アドヴァンスプロモーション | (株)CSRコーポレーション | プランニングメイ(有) |
| (有)アルファエージェンシー | (株)オフィスCHK | (株)古館プロジェクト |
| (株)アンクルベイビー | (有)ジェイ.クリップ〔リベルタ〕 | (有)プロ・フィット |
| (有)あんどら | (株)シグマセブン | 劇団文化座 |
| (株)E-spring | (株)仕事 | (株)文学座 |
| (有)イイジマルーム | (有)シス・カンパニー | (株)放映新社 |
| (有)イエローテイル | ジンズ・キャスト(株) | (株)宝映テレビプロダクション |
| 声の劇団イマージュ | (有)スターダス・21 | (有)劇団朋友 |
| (有)岩淵ぐるうぶ | 劇団昴 | (株)舞プロモーション |
| (株)ウイットプロモーション | 青年座映画放送(株) | (株)マウスプロモーション |
| (有)ヴィーヴ | (有)宝井プロジェクト | (有)オフィスまとは |
| ウィナー(株)〔ういなあエンタテインメント〕 | (有)田上事務所 | (有)ミズキ事務所 |
| (有)エーエス企画 | (有)竹内事務所 | (株)劇団民藝 |
| (有)ぷろだくしょんA組 | (有)プロダクション・タンク | (株)ムーブマン |
| (株)81プロデュース | (株)テアトル・エコー | (有)プロジェクト・メガリス |
| (有)エスブレイング | TAG(東京アナウンス学院) | (有)メディアフォース |
| (株)エヌ・エー・シー | (有)TABプロダクション | (有)オフィスもり |
| (株)エ・ネスト | D・R・A〔株)放送表現教育センター〕 | (株)矢島聰子事務所 |
| (株)エム・アール | (株)ディー・オー・エー | (有)山田栖峯子事務所 |
| M.M.P | (株)オフィス・テン | (有)惟プロダクション |
| (有)エムカンパニー | (有)t o o d o | (株)ゆーりんプロ |
| (有)えりオフィス | (有)東京芝居倶楽部 | (株)ヨコザワ・プロダクション |
| (株)円企画 | (有)プロダクション東京ドラマハウス | (有)ライオン・カバニー田畑富久子事務所 |
| (株)大沢事務所 | 東京俳優生活協同組合 | (株)ラヴァンス |
| (有)大平プロダクション | (株)同人舎プロダクション | (株)リマックス |
| 落合事務所 | (株)劇団東俳 | YAG(代々木アニメーション学院) |
| 劇団耀 | (株)オフィス・トクヒロ | (株)劇団若草 |
| (有)オフィス薫 | トム・プロジェクト(株) | (株)若プロダクション |
| (有)活動屋 | (株)トライアルプロダクション | (有)オフィス・ワット |
| (有)キリンプロ | (株)トライサム | (有)ワンダー・プロダクション |
| 銀プロダクション | (有)トリトリオフィス | |

賛助会員一覧

(2007年1月現在)

- <法人> (有)映像実演権利者合同機構
 (株)NHKエンタープライズ
 (株)オセロット
 紀伊國屋ホール
 (株)C.A.L
 松 竹(株)
 松竹京都映画(株)
 (株)テレビ朝日

- (株)テレビ東京
 (株)東京演劇音響研究所
 (株)東京現像所
 (株)TBSテレビ
 (社)日本劇団協議会
 日本テレビ放送網(株)
 (株)俳優座劇場
 (株)フジテレビジョン

- <個人> 山 岸 伸

■(賛助会員)加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。入会の際は理事の推薦が必要です。
- 会費は <法人> 1口 100,000円
<個人> 1口 30,000円
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。

MOVEMENT REPORT

< 2006年6月 >

- 6日 公演打合せ (マネ協)
- // 公演担当委員会 (マネ協)
- // 権利処理関連業務委員会 (マネ協)
- 12日 公演担当委員会 (マネ協)
- 13日 映像対策会議 (日俳連)
- // 三団体 [マネ協・劇団協・日俳連] 会議 (日俳連)
- 14日 オーディオ四者 [マネ協・日俳連・音声連・日本動画協会] 会議 (青ニプロ)
- 15日 常務会、第18回定例理事会 (マネ協)
- 20日 吹き替え50周年イベント実行委員会 (日俳連)
- 22日 集団健康診断 (代々木病院)
- 28日 吹き替え50周年イベント広報委員会 (音声連)
- // 法務委員会 (ういなあエンタテイメント)

< 2006年7月 >

- 3日 NHK・三団体会議 (NHK)
- 4日 オーディオ三者小実務小委員会 (音声連)
- 5日 映像対策会議 (日俳連)
- 6日 対内業務委員会 (マネ協)
- 7日 吹き替え50周年イベント記者発表 (花伝舎)
- 11日 オーディオ三者小実務小委員会 (日俳連)
- // 吹き替え50周年イベント実行委員会 (日俳連)
- 14日 吹き替え50周年イベント広報委員会 (音声連)
- 19日 オーディオ四者会議 (日俳連)
- 24日 常務会、第19回定例理事会 (マネ協)
- 25日 映像対策会議 (日俳連)
- // 三団体会議 (日俳連)
- 26日 法務委員会 (青ニプロ)
- 28日 民放4社・三団体会議 (テレビ東京)

< 2006年8月 >

- 1日 吹き替え50周年イベント広報委員会 (音声連)
- 4日 映像対策会議広報委員会 (日俳連)
- 8日 ピアパーティー打合せ (マネ協)
- 11日 吹き替え50周年イベント実行委員会 (日俳連)
- 14~18日 事務局夏季休業
- 22日 吹き替え50周年イベント広報委員会 (音声連)
- 29日 映像対策会議 (日俳連)
- 30日 オーディオ四者会議 (日俳連)

< 2006年9月 >

- 4日 吹き替え50周年イベント広報委員会 (音声連)
- 13日 法務委員会 (青ニプロ)
- 15日 映像対策会議 (日俳連)
- 21日 公演担当委員会 (マネ協)
- // 対内業務委員会 (マネ協)
- 26日 映像対策会議広報委員会 (日俳連)
- 28日 事務局の空き巣被害

< 2006年10月 >

- 1日 50周年関連イベント「無声映画のライブ公演」(四谷区民ホール)
- 2日 吹き替え50周年イベント実行委員会 (日俳連)
- // 三者実務小委員会 (日俳連)
- // 法務委員会 (青ニプロ)
- 6日 オーディオ四者会議 (日俳連)
- 10日 常務会、第20回定例理事会 (マネ協)
- 11日 映像対策会議 (日俳連)
- 13日 50周年イベント会場の下見・打合せ (赤坂プリンスホテル)
- 16日 吹き替え50周年イベント実行委員会 (日俳連)
- 22日 50周年関連イベント「無声映画のライブ公演」(尚美パリアホール)
- 23日 映像対策会議渉外担当委員会 (日俳連)
- // 吹き替え50周年イベント実行委員会 (日俳連)
- // 50周年関連イベント「吹き替えの歴史を学ぶセミナー」(花伝舎)
- 24日 //
- 25日 吹き替え50周年記念パーティー (赤坂プリンスホテル五色の間)
- 30日 対内業務委員会 (マネ協)

< 2006年11月 >

- 1~5日 マネ協プロデュース公演「かくれんぼ」(シアターVアカサカ)
- 7日 日本ラジオ広告推進機構による事前説明 (マネ協)
- // 三者実務小委員会 (日俳連)
- 9日 映像対策会議三役会議 (マネ協)
- 10日 常務会、第21回定例理事会 (マネ協)
- 11日 マネ協プロデュース公演打ち上げ (WA)
- 15日 三団体会議 (日俳連)
- 17日 芸団協正会員団体事務局長会議 (花伝舎)
- // オーディオ四者会議 (トムス)
- 20日 吹き替え50周年イベント実行委員会 (日俳連)
- 21日 映像対策会議 (日俳連)
- 23~24日 研修旅行 in 鬼怒川温泉 (ホテルハーヴェスト鬼怒川)

< 2006年12月 >

- 4日 三者実務小委員会 (日俳連)
- // 日本ラジオ広告推進機構との会談 (日俳連)
- 5日 常務会、第22回定例理事会 (マネ協)
- 6日 映像対策会議 (日俳連)
- 13日 三者実務小委員会 (日俳連)
- 14日 芸団協臨時総会 (東京オペラシティタワー)
- 20日 対内業務委員会 (マネ協)
- 21日 NHK・三団体会議 (日俳連)
- 29~1/4 事務局年末年始休業

マネ協新加入事業者の紹介

アール・エム・イー(株)

153-0044
目黒区大橋2-16-23
セントヒルズ池尻5F

TEL: 5738-3611
FAX: 5738-3578



代表者 柴田 秀勝



社員代表 柴田 勝俊

(有)ファイブ エイト

141-0031
品川区西五反田
5-4-6-1102

TEL: 5434-5800
FAX: 5434-5801



代表者 杉田 光夫

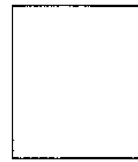


社員代表 杉田 明美

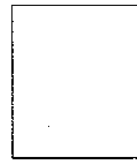
(株)トライサム

186-0002
国立市東1-17-7
コスモ国立201

TEL: 042-572-4157
FAX: 042-572-4157



代表者



社員代表
変更予定の為、記載せず。

(株)トライアルプロダクション

150-0011
渋谷区東2-27-9

TEL: 5468-9700
FAX: 3406-1276



代表者



社員代表
中村 嘉男 村上 壮

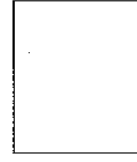
LLC 平野企画

162-0067
新宿区富久町
11-5-1205

TEL: 3226-1125
FAX: 3226-1126



代表者 平野 稔



社員代表 高田みさほ

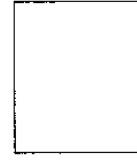
(株)アズリードカンパニー

171-0031
豊島区目白5-17-4
ヴォンヴェール目白3F

TEL: 3565-4890
FAX: 3565-4891



代表者 堀川りょう



社員代表 鈴木利恵子

(株)リマックス

〒107-0052
港区赤坂9-5-29
赤坂ロイヤルマンション206

TEL: 3478-6006
FAX: 3478-6011



代表者 高山ひさ子



社員代表 安部 孝

編 集 後 記

編集スタッフ連名 / 松田咲實・平山雅久・伊藤 信

皆さん今年もどうぞ宜しくお願いいたします。編集部も会員のみみなさまに有用な情報を一刻も早くお届けするという初心に立ち返り、精進してまいるつもりです。さて昨年のマネ協第一回プロデュース公演は素晴らしい舞台でした。マネ協の企画らしい掘り出し物の俳優がプロソロいた。とりわけマネージャー役の設定も俳優も良かった。マネージャー役はハンサムじゃなくちゃと言うイメージを完全に満たし、編集子の駆け出し時代を見る思いでした。舞台終盤は涙とハナミズで誰にも涙顔を見られないように終了と同時に早足で出た。出口には豊田プロデューサーが仁王立ちで勝ち誇ったように「どうだ。観たか!」といわんばかりに勝ちどきを上げています。今年もいい舞台をつくりたいネ。M。